

高木勝一教授 主要業績

高木勝一教授 主要業績

【著書（単著）】

- 『現代資本主義の経済論』一九七九年四月、駿河台出版社
『現代経済学の基礎』一九九〇年三月、高文堂出版社
『現代財政学』一九九八年三月、八千代出版社
『基本マクロ経済学』二〇〇四年三月、八千代出版社
『日本所得税発達史』二〇〇七年九月、ぎょうせい

【著書（共著・編著）】

- 『現代経済学』第九章 国民所得論 大淵利男編著、分担執筆、一九七七年四月、八千代出版社
『現代交通と地域経済の諸問題』「地域経済の不均等発展と地方財政調整制度」鷹取先生還暦記念事業会編、分担執筆、一九七九年五月、時潮社

- 『近代経済学の方法と課題』第九章 国民所得論 大淵利男編著、分担執筆・改稿、一九八〇年二月、八千代出版社
『財政の原理と現実』「シャウプ勧告と間接税」井手文雄・大淵利男・石村暢五郎・中村一雄編著、分担執筆、

一九八六年一月、千倉書房

『経済学の基礎理論』「第四章 生産者の理論」「第六章 経済循環と国民所得の把握」「第七章 国民所得の決定」大淵利男編著、分担執筆、一九八六年四月、高文堂出版社

『近代財政経済の理論とその展開（大淵利男教授還暦記念論文集）』「イギリスの地方制度と地方財政」分担執筆、一九八六年一〇月、評論社

『現代財政学』「第一章 財政の概念」「第三章 財政の役割」「第六章 租税論」高橋利雄編、分担執筆、一九九三年五月、勁草書房

『現代租税論』「第一章」「第五章～第七章」高木勝一・吉田克己編著、分担執筆、二〇〇〇年三月、八千代出版社
『租税論』「第一章」「第二章」「第四章」高木勝一編著、分担執筆、二〇〇四年二月、八千代出版社

『現代財政学』「第一章～第四章」「第六章～第七章」高木勝一編著、分担執筆、二〇〇七年三月、八千代出版

『現代財政学』「第一章～第四章」「第六章～第七章」高木勝一・大濱賢一朗共著、分担執筆、二〇一〇年三月、八千代出版社

『基本ミクロ経済学』「第一章～第三章」高木勝一・大濱賢一朗共著、分担執筆、二〇一〇年三月、八千代出版

『新版 租税論』「第一章」「第二章の第一節～第五節」「第九章」「第十章」高木勝一編著、分担執筆、二〇一一年一月、八千代出版社

【訳書】

『財政の経済学』ヘイ著、大淵利男監修、高木勝一訳、一九七六年六月、ベターライフ株式会社
『租税思想史』グローブズ著、高木勝一他訳、一九八四年九月、駿河台出版社

【辞典・事典】

『経済思想史辞典』経済学史学会編、分担執筆、二〇〇〇年六月、丸善株式会社
『ホスピタリティ・観光事典』山上徹・堀野正人編著、分担執筆、二〇〇一年三月、白桃書房
『海と空の港大事典』日本港湾学会編、分担執筆、二〇一一年九月、成山堂書店

【論文・研究ノート】

修士論文「日本における資本主義の発達と租税制度」日本大学より経済学修士の学位を受ける、一九七〇年三月
「終戦直後日本インフレ期の財政に関する一考察」『政経研究』第九卷第三号、日本大学法学会、一九七三年三月
「ドッジ・ライン下の日本財政に関する一考察」『研究年報』第二十二集、日本大学文理学部（三島）、一九七四年一月
「昭和恐慌下の日本財政に関する一考察」『研究年報』第二十三集、日本大学文理学部（三島）、一九七五年一月
「わが国における高橋財政に関する一考察」『研究年報』第二十四集、日本大学文理学部（三島）、一九七六年一月
「シャウプ使節団による日本税制報告書に関する一考察」『研究年報』第二十五集、日本大学文理学部（三島）、

一九七七年二月

「シャウプ使節団による日本税制報告書に関する一考察（その二）」『研究年報』第二十六集、日本大学文理学部（三島）、一九七八年二月

「シャウプ勧告―その一―」ぎょうせい『税』第三十三巻第五号、一九七八年五月

「シャウプ勧告―その二―」ぎょうせい『税』第三十四巻第一号、一九七九年一月

「シャウプ使節団による日本税制報告書に関する一考察（その三）」『研究年報』第二十七集、日本大学文理学部（三島）、一九七九年二月

「租税負担の公平について」『研究年報』第二十八集、日本大学文理学部（三島）、一九八〇年二月

「リカードの地代論と農業課税」『研究年報』第二十九集、日本大学文理学部（三島）、一九八一年二月

「J・S・ミルの財政論の一研究（その一）」『研究年報』第三十集、日本大学文理学部（三島）、一九八二年三月

「アダム・スミスの租税四原則について」『研究年報』第三十二集、日本大学文理学部（三島）、一九八四年二月

「シャウプ使節団による日本税制報告書に関する一考察（その四）」『研究年報』第三十三集、日本大学文理学部（三島）、一九八五年二月

「シャウプ使節団による日本税制報告書に関する一考察（その五）」『研究年報』第三十四集、日本大学文理学部（三島）、一九八六年二月

「IS・LM分析によるケインズ政策の一考察」日本大学三島学園生活科学研究所『報告』第九号、一九八六年三月

「シャウプ勧告と市町村税」『政経研究』第二十四巻第一号、日本大学法学会、一九八七年二月

「シャウプ勧告の問題点と日本経済への影響」教授論文、一九八九年二月

「シャープ勧告と付加価値税」日本大学法学部創立百周年記念論文集（第二巻）、一九八九年一月

「シャープ勧告及びその修正課程と日本経済」日本大学法学会『法学紀要』第三十一巻、一九九〇年二月

「わが国創設期所得税の形成と構造」『政経研究』第三十一巻第三号、日本大学法学会、一九九五年二月

「シャープ勧告と所得税」『政経研究』第三十三号第一号（堀川士良教授古希記念論文集）、日本大学法学会、一九九六年四月

「所得概念の一研究」『政経研究』第三十四号第四号（吉田徳三郎教授古希記念論文集）、日本大学法学会、一九九八年一月

「明治三十二年の改正所得税の研究」『政経研究』第三十六号第二号（村田光義教授古希記念論文集）、日本大学法学会、一九九九年七月

「一九八十年代における日米の抜本的所得税改革」『日本法学』第六十六巻第三号、日本大学法学会、二〇〇〇年十二月

「給与所得の課税ベースに関する一考察」『政経研究』第三十九巻第四号、日本大学法学会、二〇〇三年三月

「大正時代の所得税改正に関する一考察」『政経研究』第四十一巻第四号、日本大学法学会、二〇〇五年三月

「現行所得税に関する一考察」『政経研究』第四十二巻第三号、日本大学法学会、二〇〇六年一月

「終戦直後における日本経済と所得税制度」『政経研究』第四十三巻第一号、日本大学法学会、二〇〇六年五月

「シャープ勧告と住民税」『税』第六十一巻第七号、二〇〇六年

「少子高齢化と財政赤字」『税制研究』第五十号、二〇〇六年八月、谷山税制経営研究所

「井上財政対高橋財政」『日本法学』第七十二巻第二号、日本大学法学会、二〇〇六年十一月

「昭和初期の財政と昭和十五年の所得税改革」『政経研究』第四十三卷第三号、日本大学法学会、二〇〇七年一二月
博士論文「日本所得税発達史に関する研究―先進諸国の所得税制度の受容を通して―」日本大学より博士（国際関係）の学位を受ける、二〇〇七年十二月

「終戦直後におけるわが国の所得税制度」『社会科学の理論と現代の問題 大淵利男先生追悼論文集』二〇〇八年
一月、八千代出版社

「消費税増税論議に関する一考察」『日本大学法学部創設一二〇周年記念論文集』第二卷、二〇〇九年一〇月

【口頭発表・講演等】

「現代インフレの要因について」日本大学三島学園生活科学研究所 昭和五五年度研究発表会（日本大学三島学園にて、一九八〇年

「A・R・プレスト博士講演、高木勝一通訳 ―所得課税と支出課税―」（日本大学国際関係学部にて、一九八四年九月二五日

「沖縄県北部国頭村のリゾート開発と地方財政」沿岸域の開発方策・制度を考える（日本大学沿岸域研究会）（日本大学学芸館において、一九九〇年九月

講演「税金の話」大仁町『町民大学講座』（大仁町公民館にて、一九九三年二月四日

「シャープ勧告とその具体的展開―所得税を中心として」日本税制理論学会 第七回（京都大学にて、一九九五年一月二五日

講演「わが国の経済社会の現状と税制」 日本大学通信教育学部校友会 静岡県支部「講演会」(日本大学国際関係学部にて)、二〇〇三年一〇月一八日

高木勝一教授 主要業績

九五 一 (一三四三)